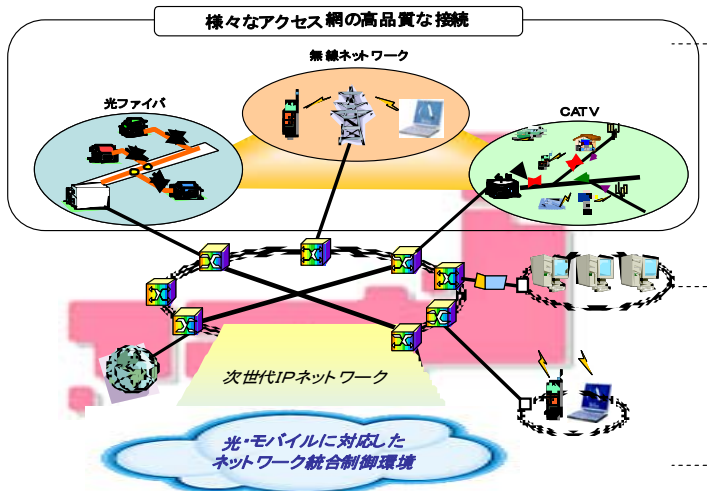


戦略重点科学技術(7) 大量の情報を瞬時に伝え 誰もが便利・快適に利用できる次世代ネットワーク技術

○国民生活に深く浸透している電話網に代わる、次世代ネットワークの早期の実現を図るとともに、更にその先を見据えた将来のネットワークの基盤技術等に関する研究開発を進める。

○ネットワークを制御する技術、柔軟性及び拡張性の高いネットワークの基本設計技術、さまざまなネットワークを相互接続する技術、ネットワークのデータ量の増大に伴う消費電力増大を抑制する技術の研究開発を実施する。

○これら技術を確立することで、利用者主導の高度なサービスの提供を可能とし、ユビキタスネット社会の早期実現に資する。



対象となる施策(平成20年度)

- 次世代バックボーンに関する研究開発
【総務省】対象予算: 1,296百万円
- 次世代ネットワーク基盤技術の研究開発
【総務省】対象予算: 3,001百万円
- フォトニックネットワーク技術に関する研究開発
【総務省】対象予算: 3,637百万円
- ナノ技術を活用した超高機能ネットワーク技術の研究開発
【総務省】対象予算: 118百万円
- 移動通信システムにおける周波数の高度利用に向けた要素技術の研究開発
【総務省】対象予算: 3,799百万円
- 未利用周波数帯への無線システムの移行促進に向けた基盤技術の研究開発
【総務省】対象予算: 2,328百万円
- 地上/衛星共用携帯電話システム技術の研究開発
【総務省】対象予算: 581百万円
- 新世代ネットワーク基盤技術に関する研究開発
【総務省】対象予算: 2,130百万円
- 次世代高効率ネットワークデバイス技術開発
【経済産業省】対象予算: 1,043百万円

戦略重点科学技術(8) 人の能力を補い生活を支援するユビキタスネットワーク利用技術

○ユビキタスネット社会の実現に向け、端末(電子タグ、センサー、情報家電等)のセキュアかつリアルタイムな協調・制御、実世界の状況の認識とサービスへの反映を可能とする、斬新なネットワーク技術の研究開発を推進する。

対象となる施策(平成20年度)

- ユビキタス・プラットフォーム技術の研究開発
【総務省】対象予算: 1,500百万円
- 情報家電の高度利活用技術の研究開発
【総務省】対象予算: 217百万円
- 自律移動支援プロジェクト
【国土交通省】対象予算: 526百万円

電子タグ等を使った多様なサービスを携帯電話で利用可能

①ユビキタス端末技術

ユビキタスサービスをより簡単・便利に利用可能とするための端末技術



電子タグリーダー・ライター
モジュール技術、端末利活用技術

その時必要とするサービスが、いつでも簡単に利用可能

②ユビキタスサービスプラットフォーム技術

ユビキタスサービスの高度化を実現するネットワーク基盤技術

リアルタイムで変化する状況情報を効率的に配信・活用し、必要なサービスを利用可能とする技術

自分の居場所・知りたい場所の情報が把握可能

③ユビキタス空間情報基盤技術

位置や場所に関する情報を活用するための共通利用基盤技術と空間コードの体系化

ユビキタスサービスの利便性を高める空間情報基盤技術

実証実験の実施

我が国が直面する様々な課題を解決するサービスの実現